

第4回総合計画審議会後「意見質問シート」による審議会委員からの主なご意見等

1. まちの将来像

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	<p>○P1、キャッチフレーズについて</p> <p>①「みんな笑顔のまち村上」としたほうがよい。</p> <p>②「笑顔のまち村上」のままがよい。</p> <p>③「笑顔あふれるまち村上」に修正されたい。</p>	<p>○左記のご意見を踏まえ、市長にも意見を伺ったところで、第2次計画から第3次計画へのステップアップや新しさを入れること、新鮮なフレーズなどを意識し、「あふれる笑顔のまち村上」とさせていただきました。</p>
2	<p>○P1、説明文について、「市民一丸となって取り組んでいく」を「市民自らがともに取り組んでいく」に修正されたい。</p>	<p>○ご意見のとおり修正しました。</p>
3	<p>○P1、まちの将来像に込められたまちの姿について（下段、囲み部分）、「まちの将来像」を具体化したものとの理解のもとで、「様子」を、たとえば「まち」に修正してはどうか。</p>	<p>○ご意見のとおり修正しました。</p>
4	<p>○P1、全体を通して「家族」「家庭」という文言がないため、入れてほしい。</p>	<p>○「市民」「すべての人」に包含されているものと考えております。</p>

2. まちづくりの基本理念

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	<p>○P2、説明文について、分かりにくい表現が多いため、明確に記述したほうが良い。</p>	<p>○「創る」「育む」「広げる」が「どの場面においても共通して必要な考え方」であることを主体として、説明をシンプルに分かりやすくしました。</p>
2	<p>○P2、3つの要素によってひろがるまちづくりについて（下段、囲み部分）</p> <p>①『広げる』中の「笑顔を広げる」を最初にするのが良い。</p> <p>②『広げる』中の「拡大成長する」→「継続的に成長する」または「成長し続ける」として、最後（4番目）に移動してはどうか。</p> <p>③「広げる」中の「拡大成長する」を「将来につなげる」に修正されたい。</p>	<p>○①をご意見のとおりとしました。②、③のご意見を踏まえ、「拡大成長する」を除き、「将来へつなげる」を加えました。④3つの要素はどの場面、どの分野、どの行動にも当てはめることが出来るものと大きく捉えており、なるべくイメージを限定する表現を避けたいという狙いがあります。見る</p>

<p>④もう少し柔らかな優しい言葉（文章）で記載できないか今一度再考をお願いしたい。例えば、</p> <p>創る 地域の環境を生かし衣食住を含む様々な産業や文化・芸術を創る</p> <p>育む 家族・隣人を愛し伝統を重んじ地域に誇りを持つ人材を育む</p> <p>広げる 多角的な視野を持ち笑顔と真心で交流を広げる</p>	<p>人それぞれが3つの要素へのイメージを膨らませて、それぞれに場面を当てはめながら想像していただきたい部分であり、「…」を加えてあえてシンプルにしております。</p>
---	--

3. まちづくりの基本目標

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	<p>○P4、基本目標（2）⑦について、「ゼロカーボンシティ」への取り組みについての記載は必要ありませんか。</p>	<p>○社会情勢を踏まえ、基本目標（2）⑦に「脱炭素社会の実現」を加えました。「ゼロカーボンシティ」など関連する具体的取組は基本計画に記載します。</p>
2	<p>○P5、基本目標（5）②について、「女性や障がい者など～」を「女性や高齢者、障がい者など～」としたほうがよい。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、「女性や高齢者、障がい者、外国人など」へ修正しました。</p>
3	<p>○P6、基本目標（5）④について、「効果的でわかりやすい情報発信や情報の開示により、親しみやすく透明性の高い行政運営を進めます」では少し一方通行な印象を感じるので、皆さんの声を聞く体制ができていますということを感じられる言葉があると良い。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、「～情報の発信と、多様な意見提案ができる機会の創出に取り組みます。」へ修正しました。</p>
4	<p>○P4, 6、横文字用語の対応について</p> <p>①基本目標（3）①「ICTなどの…」→断り無しに略語が出てきているため、初出の部分では、「ICT（情報通信技術）」または「情報通信技術（ICT）」としておくべきと考えます。</p> <p>②基本目標（5）④「AIやICT、IoTなどの…」→前項と同じ理由で、初出の部分は下記のようにしておくべきと考えます。</p> <p>「AI（人工知能）」または「人工知能（AI）」</p> <p>「IoT（モノのインターネット）」または「モノのインターネット（IoT）」</p> <p>③(5)④の横文字用語（AI, ICT, IoT）については、注釈をフットノートに入れられたい。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、今後標記の統一を図ります。なお、計画には用語説明を加える予定です。</p>
5	<p>○P3、題名「まちづくりの基本目標」を「まちづくりの方針（または方向性）」に修正されたい。</p>	<p>○（1）から（5）の目標のタイトルを（「～のまち」として）変えることにより対応しましたので、このままとします。</p>

6	<p>○P4、基本目標（2）について、「(2)豊かで安心なまちづくり」の一項目として「新たな感染症への対策」を立てられたい。</p>	<p>○基本目標（2）②として、「新型コロナウイルス感染症をはじめ新たな感染症から市民の生命・健康を守る対策に努めます」を追加しました。</p>
7	<p>○P3～6、基本目標全体について</p> <p>①基本目標「2 豊かで安心なまちづくり」の政策分野において、政策分野では10区分になっているのに、基本目標では11区分となっているため、修正されたい。</p> <p>②本目標に列記している①②…は、それぞれの目標に係る政策分野の方向性に当たる内容だと思われるので、政策分野を明記し、それぞれの基本方針として整理した方がよいと思う。そのような形で整理すれば、分野別計画の「政策」にもつながるのではないかと。</p>	<p>○①政策分野区分の数と基本目標の説明項目の数は一致しておらず、基本目標の1項目に複数の政策分野が関連しているものもあります。</p> <p>②前項①の理由により逆に見にくくなってしまいうことも考えられますので、基本構想ではこのままの形式としますが、体系図などを作成する際に表現方法を検討します。</p>
8	<p>○P3, 5、前文および基本目標（5）の囲み部分について、前文の「連携、協働しながら」と囲み部分の「協力・連携し合いながら」について、「協働・融合しながら」へ修正したらどうか。</p>	<p>○様々な主体と連携、協働していく方向性は変わらないものの、公正・中立である公共団体にとって、「融合」までの考え方は、逆に“そうあってはならない部分”もあると考えます。「融合」の前提として「協働」の考えが正しく定着しなければ公正な「融合」は成し得ないと考えており、現段階で「連携」や「協働」を高めるべきであると考えております。</p> <p>※「融合」・・・「2つ以上のものが溶け合って1つになること」</p>
9	<p>○政策分野について、「河川・排水路」を「海岸・河川・排水路」としたらどうか。</p>	<p>○「河川・排水路」を「河川・海岸」へ変更しました。引き続き、排水路についても小規模河川と同様に当該政策分野にて記述します。</p>
10	<p>○P3、基本目標（1）について</p> <p>実線枠内の文面を、「子育てがし易い生活環境を整備して、若い人口層が暮らすようにする。」と、「多様な健康レベルに応じた、保健医療と福祉を提供する生活環境を整えて、子どもから高齢者までが、それを適切に利用できるようにする。」というような、二つの事柄に分けて表現することを提案します。</p> <p>あるいは、この文面も生かすならば、「健康で安心できる暮らしの実現を目指す※（これが目的ではないかと考えます）ために、子育てしやすい、支え合いが広がる仕組みのまちづくりをします。」</p>	<p>○文章を短くしながら、意味が伝わるような表現に努めております。ご意見については、言い方の違いであって、現在のままでも表現されているものと考えております。また、①、②というように、どのようにしたいか、についても述べられておりますので、読み手に主旨が伝えられるものと考えています。</p>

<p>○P4、基本目標（2）に関する意見。</p> <p>①防災の項目を重視することには、賛成です。</p> <p>理由：気候変動による異常気象への対策として、エネルギー政策が大きく取り上げられがちですが、地方都市の自治の観点からは、今後は減災にもなる、適応策に相当する政策を、急ぎ検討する事が、重要と考えます。減災のための配慮や施策をどの様にしているのかが、今後、首都圏等の大都市圏からも移住者を増やす上では、大きな目安になると考えます。安心して暮らせるまちづくりを目指すという事は、そうした長期的な観点からの計画検討を重視して頂きたいです。</p> <p>②①の文と②の文を、次のように修正することを提案します。</p> <p>11 ①災害に対する備えの強化と、市民の生命・安全の確保のために、互助・共助のための地域防災組織体制の充実を支援する。</p> <p>②災害に対する備えの強化と、市民の生命・安全の確保のために、専門的で公的な防災や救急活動の整備と、その改善を進める。</p> <p>理由：①の文と、②の文は、災害に対する備えの強化という内容で共通しています。そこで、これも、目的は災害に対する備えの強化ですから、そのための目標として、「① 共助・互助のための地域防災組織の成立を促進する」事と、「② 専門的で公的な防災や救急活動の整備と、その改善を強化する」事として記載すると、分かり易いのではないかと考えます。</p>	<p>○①ご意見とさせていただきます。</p> <p>②①のご意見については、「地域の防災体制」が互助・共助そのものです。ご意見には、更に詳しく言うように言葉を加えておりますが、素案の段階であっても、主旨は変わりがなく、むしろ簡潔に理解できると考えております。②に「専門的な防災」とありますが、公的消防体制はすべて専門的で特殊なものであると考えており、とりたててこの表現を使う必要はなく、むしろ文章全体を難しくしてしまいます。また、人命に大きく関与することから、常に改善を意識しながら装備更新、災害訓練に努めておりますので、「改善を進める」という表現よりも、「整備・強化を図る」という表現の方が、より強い表現と理解でき、現在のままで十分主旨が伝わり、より理解し易く読めると考えます。</p>
<p>○P4、基本目標（2）に関する意見。</p> <p>①生活困窮者や経済的に自立の困難度を抱える市民をどの様に支援するかについての項目が無いので、それを記載して欲しいです。文例としての案を次に記載します。</p> <p>「社会的要因が大きい経済生活への不安が、軽減できる支援を、積極的に開発して、住民が心豊かで安心して暮らせるようにする。」</p> <p>②③と④の文を、次のように修正することを提案します。</p> <p>② 子どもや高齢者などの交通事故防止と、特殊詐欺などの消費者被害防止の対策をより強化する。</p> <p>②市民の防犯への関心を高め、地域の安全性を高めるための、防犯に関する相談体制と予防法の広報活動を拡充する。</p> <p>12</p>	<p>○①生活困窮者の視点については、基本目標（1）になります。</p> <p>経済的に困窮する不安を抱える方を支援することは、これまで通り大切なことと考えております。まずは、そのような方が躊躇することなく相談に来ていただける体制や、社会の中で自立していくための支援をしていくことが必要であり、これらについては（1）④及び⑤に含んでいると考えております。また、基本計画にも政策1-5 地域福祉として基本計画の中で記載しているところです。</p>

	<p>理由：これも、③と④の二つの文が、「安全・安心なまち」という目的のための目標と判断できます。そのため、目的にあたる文言を③・④共に記載するか、或いは、上記のようにその目的のために、どのようなことをするのかを記載すると、すっきりとして分かり易いのではないかと考えたからです。交通事故も特殊詐欺等も、共に年齢を問わず防ぎたい事ですし、殊に判断力の低下が生じやすい高齢者が多い事と、同じく青少年が、犯罪に巻き込まれることを防ぐ必要が、高まっていますので重要な課題への対応になります。</p>	<p>②交通安全と防犯に関する記載については、現在の素案のような記載として広がりを持たせる方が、基本計画で交通安全の対策の手法や犯罪の抑止方法などを様々記載することが可能です。ご意見にある内容は基本的に素案にも含まれていると考えますので、詳しい記載は基本計画中で述べることとして原案のままとします。</p> <p>（例）防犯対策として相談と広報だけ取り立てて記載するのではなく、まちを明るくし犯罪をおきにくくすることや地域で自衛する活動を進めることなども対策と言えます。総合して防犯対策をしていくことが大切と考えます。</p>
13	<p>○P4、基本目標（2）の⑥に関する質問と意見。</p> <p>①⑥の「再生可能エネルギーの利用やリサイクル率の向上などに努め、環境に配慮した循環型地域社会の形成を進めます。」という文を、第2次計画の継承といっているわりには、「自然エネルギーの利用やリサイクル率の向上などに努め、環境に低負荷な循環型社会の形成を推進します。」という表現から、わざわざ変えた理由を聴きたいです。</p> <p>質問の理由：再生可能エネルギーの用語の含意には疑問があります。再生可能という事では、原子力発電も核燃料物質の再利用という検討を政府は否定していませんので、この「再生可能エネルギー」という語彙について記載する用語解説を、どの様にするのかを確認したうえで、この用語を記載する事の可否を考えたいと思っています。</p> <p>②上記の⑥の文面の修正意見です。</p> <p>⑥「暮らしと、その基盤である生態系への影響を考慮した大規模開発ではない、再生可能エネルギーの利用を促す。」に、修正を提案します。</p> <p>理由：環境に配慮したという表現は、「環境」の含意と、「配慮」の内容が見えにくいので何に配慮するのが明示的な表現の方が望ましいと考えます。また、再生可能エネルギーといっても、良し悪しがあり、原材料の不公平調達や、土砂崩壊・暴風・地震津波等による大規模災害、生物多様性後退等の影響が、生じやすい、所謂、大規模開発を伴わない、再生可能エネルギーの利用促進が、今は求められています。</p>	<p>○①現在、自然エネルギーという使われ方はあまり用いられておらず、再生可能エネルギーという方が一般的でよく知られています。再生可能エネルギーは一般的に、①資源枯渇がないこと、②二酸化炭素の排出がないなど環境への負荷が少ないこと、③どこにでも容易にあり、利用ができることなどが定義とされており、ご意見にある原子力発電は含まれないと考えております。</p> <p>②ご意見にある内容は、「暮らし」は「人」、「生態系」は「環境」、「考慮」は「配慮」と考えることができ、「人と環境に配慮した」という文章に主旨が十分含まれていると考えます。また、その規模や形を含めて「人」や「環境」に対する影響を十分検討し、様々な議論の上で具体的な導入・整備が進められると考えており、ご意見にある内容は原案に含まれていると考えております。</p>

<p>③また、⑥の文の内容を、別の項目を立てて、二つの文にする事を、提案します。</p> <p>⑦として、「小規模・分散型で循環できる地域社会を形成するために、自然界や市内生活環境に潜在するエネルギー資源等を、活用する仕組みづくりを推進します。」を、追加することを提案します。</p> <p>理由：自然エネルギー資源とともに、廃棄物の再利用・再生も、熱エネルギーや素材変換に活用できるのですから、ごみのリサイクル率向上やフードバンク事業等も、こうしたエネルギー資源の活用に含まれると考えるからです。更にそれは、エネルギーロス小さくするためにも、なるべく自給自足的な生活圏における取組を促進することで循環型地域社会の形成につながると考えるからです。</p>	<p>③上記と同様に、ご意見は原案の中に含まれていると考えます。</p>
<p>14 ○P4、基本目標(2)に関する意見。</p> <p>①⑤は「豊かな自然環境による美しい景観・眺望を、後世に引き継ぐための、公害の防止や環境保全を推進する。」</p> <p>⑦は、「歴史や文化と調和する美しい町並みや景観を、後世に引き継ぐための、公害の防止や環境保全を推進する。」</p> <p>という二つの文に修正する。</p> <p>②あるいは、これを繋げて「豊かな自然環境による美しい景観・眺望と、歴史や文化と調和する美しい街並みや集落の景観を、後世に引き継ぐため、公害の防止や環境保全を推進する。」と修正することを提案します。</p> <p>③⑧は、多くの地域の問題ですから、重要なことだと考えます。</p> <p>④⑨は、長寿命で高耐久の社会基盤という表現は、身近な生活感覚からは想像がし難いので具体的な事例を例示して欲しいです。</p> <p>例えば、「社会基盤として重要な、交通路や、海岸・河川の護岸等の老朽化による事後災害の防止。健康な生活に必須の安全で良質な水資源を、確保し持続させる。」というような表現を求めます。</p> <p>理由：市民アンケート 14 頁のクロス集計結果からも、水環境や衛生環境に関する項目には満足度が高いことが分かります。殊に水道水の良質さは、大都市圏の住民からしたら羨ましいくらいの宝だと思っています。森林や河川の管理とも関係し、沿岸の海域との関係もありますが、社会基盤としての安全な飲料水質の確保は、公共性の高い政策として、重要です。項目を一つ立てても良いくらいだと、考えます。これらもその配管や水源の管理を長寿命・高耐久が優先されると考えます。</p>	<p>○①「歴史や文化と調和する美しいまちなみ」は「景観」含み、「自然環境」と並べて記載しておりますので、ご主旨は含まれているものと考えます。つまるところ、どちらの表現方法が良いかということとなりますが、通常、同じようなフレーズを二度続けることは避けており、原案の表現の方がすっきりしていて読みやすいと判断いたします。</p> <p>②上記と同様の理由により、原案どおりといたします。</p> <p>③ご意見とさせていただきます。</p> <p>④「高耐久」を「強い」とわかり易く表現し、修正します。なお、さらに詳しい記載は、基本計画の個別分野に記載することとしています。</p>

<p>○P4、基本目標（3）に関する質問と意見。</p> <p>質問。</p> <p>①見出し下の枠内の文、「多様なニーズへの柔軟な対応とチャレンジへの応援により、」のこの箇所は、「市民（この言葉の意味する事も用語解説として掲載する必要があると考えます。）の」という意味ですか。</p> <p>②②の「優れた品質の農林水産物を安定的かつ高効率に生産できる体制の構築や、高収益な生産物への転換、人材の育成に取り組みます。」に、下線部分、句点の挿入。 但し、この内容については、追加意見があります。</p> <p>15 それは、高収益の生産物への転換にのみ偏ると、自然相手なので、不作事態には、大きな被害となるので、多角的な経営ができるような支援も併せて小規模経営者には実施して欲しいです。</p> <p>③土地利用の有効化と、里山保持のためにも、効率性は低いですが、小規模の栽培でも、持続できる環境支援が必要と考えます。そうした項目も、この基本目標の中に掲載することを提案します。</p> <p>理由： 市勢要覧の「産業」の項目にある、「農家数」の円グラフに見られるように、市内には、「自給的農家」の割合が多いですから、こうした農家の保持は、異常気象の頻発する今後において、価値がある存在だと考えます。「自給型の農家の保持と、家庭農園等での自給農作物の生産の促進を支援する」ことは、「公共的な環境保全と、減災にもつながるために」なると考えます。そのためには、鳥獣被害対策が充実することが必要と見えてきます。具体的な施策にもつながると考えます。</p>	<p>○①ご意見のとおり、内外の個人や企業など様々な場合が想定されるため、あえて「市民」と入れておりません。地域活性化やモノづくり、起業など、本市をフィールドとして挑戦していく人や団体を応援するという趣旨です。ご意見にあるよう、わかり易い説明が必要かを検討します。</p> <p>②市の農業は稲作に頼っており、農業所得の低下や従事者の高齢化問題、担い手不足などが課題となっています。これらの問題を解消していくためにも、高効率で高収益な農業に転換することは、農業政策の上でも大変重要であると考えております。ご意見とさせていただきます。</p> <p>③ご意見にある、小規模の栽培で農業を維持できるようにすることは非常に難しいと考えております。基本目標（3）では、産業としての農業を捉えており、高齢化や担い手の問題、所得向上、鳥獣などとの関わり、成長し持続する産業という面など、家庭菜園とは大きく異なる次元の取組と考えております。ご意見とさせていただきます。</p>
<p>○P5、基本目標（4）に関する意見。</p> <p>①見出しの下の枠内の文言と、②の文言で気になる表現があり、修正を求めます。</p> <p>枠内は「地域と一体となった郷育(さといく)」、②は「学校と地域社会が<u>一体となった教育</u>」です。この場合、「一体」という言葉は、地域社会の干渉が、教育現場に及ぼす影響の度合いについて、不安を感じました。</p> <p>「一体」ではなくて、「学校と地域社会が交流できる開かれた関係性の中で、教育を進めます。」に修正を提案します。</p> <p>「<u>地域市民と協働による郷育(さといく)</u>」或いは、「<u>地域市民と交流による開かれた関係性の中の郷育</u>」に修正を提案します。</p> <p>16</p>	<p>○①ご意見を踏まえ、「一体」という語句を変え、「地域と協働する郷育」に修正します。</p>

<p>②6項目以外に、項目追加を提案します。</p> <p>⑦「諸災害や新興感染症等害により、保育・教育を受ける機会が保障されないことの無いように、平素からの体制の整備を推進する。」</p> <p>③⑤の文に、修正を提案します。</p> <p>「生涯にわたる学習活動を支援し、学びから得られた知識を多くの人に広げる活動を通して、生きがいのある暮らしと豊かな地域づくりを進めます。」の下線箇所を「知見を広げる活動や、多様な他者との交流を育み、生きがいのある暮らしと、豊かな地域の文化醸成を進めます。」に修正することを提案します。</p> <p>理由： 知識と見解、という意味で知見とする事に。何が豊かかを明示するために。</p> <p>修正後の案「生涯にわたる学習活動を支援し、学びから得られた知見を広げる活動や、多様な他者との交流を育み、生きがいのある暮らしと、豊かな地域の文化醸成を進めます。」</p>	<p>②ご意見には、新型コロナウイルスなどで投稿できない児童などに向け、教育を受ける機会を妨げないということを用意した意見であると理解しています。これについては、③に「時代が求める学習環境の整備を図る」と記載されており、災害ばかりではなく、障がいのある子どもの受入や、学校に登校できない児童など、個と多様性が求められる時代に学習環境を合わせていくことが大切であるという趣旨が含まれております。</p> <p>③ご意見にある修正案は、これまでの生涯学習の施策に沿った内容ではあると思いますが、様々な内容を盛り込み過ぎていて逆に長く読みにくいように感じるところです。原案の主旨は、「市民が生涯にわたって学習を進めることを支援し、その学習成果をより多くの人に伝え広げていくことで、更に大きく生涯学習の輪を広げるとともに、知識欲や学習欲を更に高め、より深く学習していく様子が広がり増していくことが、生きがいのある暮らしや活き活きとした地域づくりにつながっていくこと」を短く表現したものであり、短くとも理解し易い文章になっていると考えております。なお、「文化については⑤でも触れられております。」</p>
<p>○P6、基本目標（5）に関する意見と質問。</p> <p>①⑤の文について、意見あります。</p> <p>情報開示の事柄は重要ですから必要は事項だと考えます。</p> <p>17 但し、追加したい文があります。「効果的でわかりやすい情報発信や情報の開示により、親しみやすく透明性の高い行政運営を進めます。」の下線箇所を、次のように修正することを提案します。</p> <p>「情報の開示と、市民からの意見の広聴の機会を、積極的に拡充する。」と。</p>	<p>○①ご意見の趣旨を踏まえ、「多様な意見提案ができる機会の創出」を加えて修正しました。また、情報の開示については、審議会での議論にあった通り、「なんでも開示することが良いというものではない」という意見や、現在でも情報開示は条例や制度に基づき適正に行っており、取り立てて情報開示を記載すべきものなのか？という意見もあり、「情報の発信」に「情報の開示」を包含させることとしました。</p>

<p>②先に副会長から提案の在った「融合」の意見について、質問があります。</p> <p>見出し下の枠内の文、「多様な人材が活躍し、様々な主体が協力・連携し合いながら持続・成長できるまちを目指します。」という表現についての意見でしたが、融合という表現の理由を再度お聞きしたいです。「包摂」するという感じとは異なりますか。</p> <p>質問の理由：私は、融合という表現には抵抗を感じました。それは、融合するという事は、前の段階を溶かし消して創る感じがしたのです。むしろ、多様な主体の個性が緩やかに包み込まれるような感じで取り入れられることで、相乗作用を生み出すというような関係性を大事にしたいと考えたからです。少々抽象的・概念的な思考展開になり恐縮ですが、言葉の意味は、考え方を表すので大事だと思いますので、お聞きしたいと思いました。</p>	<p>② 8番に同じ。</p>
<p>○第3次村上市総合計画基本構想（素案）は、第2次村上市総合計画基本構想の継承と発展を謳っている。</p> <p>しかし、村上市を取り巻く現下の状況は第2次策定当時とは、全く異なっている。その前提を抜きにして、第3次を策定することには違和感がある。</p> <p>村上市も、世界の、日本の、新潟県の、一角を担っている。特に世界的パンデミック下（新型コロナウイルス）の広がりの中で、日本国内もその例外ではなく、令和3年（2021）8月末現在、国内は東京・大阪を始め全国的に異常な緊張状態にある。村上市の感染者数は比較的少ないとは云え、絶え間なく発生している。ワクチン接種の広がりに困ってデルタ変異株を克服する。可能性はあると思う。しかし世界的パンデミックの現状を根本的に解決するには、かなりの年月を必要とすると思う。</p> <p>問題はそこに止まらない。仮に「新型コロナウイルス」が発生しなかったとしても、地球そのものが壊れて行く過程が「2030年問題」として問われているからである。地球温暖化は異常気象として眼前に広がっている。北極圏の氷が溶け出し、アラスカでは永久凍土が溶けている。オーストラリアの想像を絶する巨大な火災に包まれた山火事など、、、日本国内でも異常な降雨により土石流など大きな被害が出ている。人間の過剰な生産活動によりもたらされた二酸化炭素の野放図な排出が地球本体の病変の核心であり事態は深刻である。</p> <p>その深刻な状態を改善・解決しようと国連を中心に日本を含む先進各国が「カーボンニュートラル」を宣言し立ち上がっている。2030年までに世界の平均気温上昇（産業革命次を0°Cとして。1850年）を</p>	<p>○総合計画基本構想はあらゆる分野を網羅して記載する必要があり、ご意見にある点などを特記して表現しづらい部分があると思います。しかしながら、説明には脱炭素に関することや感染症に伴う対応、先進技術の導入に関することが記載されていると考えます。また、時代背景については、今後編纂予定である序論に記載する予定です。なお、基本計画の各施策では、詳しく反映できる部分もあるほか、重点戦略となっている総合戦略では、時代変化と進めるべき方向性を結び付けて詳しく説明しているところです。人口減少などに見られる課題や成人病対策、学習の推進、道路や橋などの基盤整備、農業や産業の振興策・・・など、コロナ禍や温暖化の流れと関連しない内容もまた大きいということもご理解ください。市としては、全方位に対する市民の負託に応える責務があると考えているところです。</p>

<p>1. 2° C (2020 年) の現状から絶対に L 5° C (地球の限界平均気温) 上昇させないこと、これが今を生きる我々に課せられた課題であり義務である。</p> <p>世界各国がどこまで真剣にこの問題を捉え、各国が協調して目に見える成果を示めすのか。残された時間は少ない。</p> <p>結論。 以上のような現実を踏まえ、第3次村上市総合計画は策定されるべきである。 「笑顔のまち村上」を村上市の将来像として掲げる以上、村上市民に目の前の良き・悪しき未来を明確にした上で、村上市の決意を語るべきである。</p> <p>「笑顔のまち村上」を未来につなげよう！！</p>	
---	--

4. 重点戦略

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	○P6～7、総合計画と、重点戦略とされている2つの計画の関係が分かりにくい。	○総合戦略及び行政改革大綱における取組は、総合計画でいう本市のあらゆる政策に関連させて考えていくべきものであり、優先して取り組む内容であることをいうものです。総合戦略は人口減少に伴う課題の克服を計画の主題としています。一方、行政改革大綱は、人口減少や市の歳入減少などを見据えて、市内施設の利活用を促進するための施設整理や行政事務の効率化を主題とした計画です。
2	○P6～7、総合計画と総合戦略は、「基本目標」(前者)と「取り組むべき分野」「基本目標」(後者)、「施策の方針(方向性)」など類似した項目が多く、総合戦略をそのまま総合計画の重点戦略に位置付けることは混乱を招くのではないか。	○第2次総合計画でも同様の体系であり、混乱はありませんでした。
3	○P6～7、総合戦略や行政改革大綱を踏まえて、新たに総合計画の「重点戦略」を作成(再整理)することも考えられるのではないか。	○総合計画>総合戦略・行政改革大綱となっており、現在のところ修正の必要はありません。また、総合計画策定後に、不具合が生じた場合は修正を行います。
4	○P6～7、人口減少問題が最重要課題であり、「総合計画でもあらゆる施策を超えて重点的に取り組むべきもの」であるなら、総合計画(基本方針など)で、課題に対する認識や基本的な考え方を示す必要が	○総合計画は、市のあらゆる課題に向けて対策を講じることや、市の全ての業務分野に目標をもって取り組んでいくこと

	あるのではないか。	を主旨としています。また、人口減少に向けた取組は、総合戦略によって対策を進めており、それぞれ性格づけされていると考えています。ご意見にある内容は、序論作成の際に参考とさせていただきます。
--	-----------	---

5. 土地利用構想

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	○P13～14、図1と図2について、これらは何であるかの説明を本文中で記述されたい。	○本文中に記述しました。
2	○P14、形成すべき「産業圏ネットワーク」とは何なのかを本文中で記述されたい。	○本文中に記述しました。
3	○P14、(5) 産業圏ネットワークの形成 山北地域と荒川地域を交通結節点と位置付けた記述になっているが、本市の産業集積、観光拠点、交通結節点などを全体的に捉えた記述にした方がよいと思う。	○全体を捉えた記述に変更しました。
4	○P14、情報通信基盤は企業活動にも大きな影響を与えており、生活圏と同様、産業圏においても情報通信基盤に関する記述が必要なのではないか。	○産業圏（広域）ネットワークにも通信環境の整備に関する記述をしました。
5	○P15、(6) ゾーン等の設定の考え方 「地域生活エリア」について、生活に関するサービスの利用圏は、サービスの種類や利用者によって大きく異なると考えられ、地域生活エリアを明示することが適切かどうか疑問に感じる。	○ゾーンを本市自然環境などの保全と調和を念頭とした土地利用を中心に考えることとしています。なお、「地域生活エリア」については紛らわしさにつながることから使用しないこととしました。

6. デジタル基本方針

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	○P17～18、【視点1】～【視点3】は、前文でうたわれている「デジタル化や…対応していくための指針を加え、…」の「指針」とどのように対応しているのでしょうか。	○名称を「デジタル基本方針」として、内容の中心を「3つの方針」としてわかりやすくしました。
2	○P17～18、市民への「デジタル文化」の啓蒙は、この本文に十分述べられていると思います、と、同時に今の村上市はデジタル化推進による外部からの人口及び産業の流入を促進すべきと考えます。例えば、人口減少が進んでいる市町村は、「ワーケーション」を積極的に取り入れようとしています。当市	○「ワーケーション」については基本計画へのご意見とさせていただきます。

	においても一考の余地は十分にあると思います。「ど田舎の IT シティ」をキャッチフレーズに村上市を全国へ発信してみてもどうでしょうか。	
3	<p>○❶P17～18、計画期間が5年間の総合計画で、この、「3つの視点」で、誰に何を伝えたいのか、また、対象が行政サービスなのか民間の事業等を含むのかなど、意図がよく分からない。</p> <p>❷また、趣旨が不明確な記述が散見され、全体的に文章の整理が必要だと思う。</p>	<p>○❶今後、デジタル基本方針として（1）に記載しました。審議会でも説明したとおり、デジタル技術は行政のみならず様々な分野に導入されていくと考えられ、方針もないままにどんどん導入が進み、格差や課題生じることを避けるため、デジタル技術を導入するための基本的な約束を3点として記載したものです。</p> <p>❷なるべく分かりやすいように全体的に文章の整理をしました。</p>
4	○P17～18、市として、デジタル技術を活用してどのような社会やサービスを目指すのか、どのような施策を進めるのかなど、デジタル社会における施策の方向性を記載してもよいのではないかと。	○基本構想のひとつとして、あらゆる分野のデジタル化の基本となるべき指針を定めるものであり、この考え方を基本として各分野のデジタル導入計画が進んでいくものと考えております
5	○P17～18、【視点1】主に市域の広さに着目した記述となっているが、距離を越えられるという観点では、より広域的に（市域、県域等を超えて）考える必要があるのではないかと。例えば、全国的に進みつつある分散型社会の受け皿としての可能性なども探る必要があるのではないかと。	○デジタル基本方針の主旨や意図は4番と同様です。ご意見とさせていただきます。
6	○P17～18、【視点1】「広大であるがゆえにあらゆるサービスが非効率で高コストだった本市のサービス」という記述は実態に即しているか（具体的な根拠は）。	○あらゆるサービスに人や場所が必要なこと。市域が広く、そうした拠点も多く必要になること。あらゆる手続きや事業は、市域からの集まりやすい場所の選定や移動手段の確保などの実現性が先になり、スピーディーで細やかな実施ができないことなど
7	○P18、【視点2】より幅広い人にとって有益なものとするという観点では、機器の操作（講習）といった点だけでなく、デジタル技術を活用して、誰にどのようなサービスを提供できるかが問題だと思う。	○方針2及び方針3の主旨にあると考えております。ご意見とさせていただきます。

8	○P18、【視点2】技術の多くは民間事業者によって開発され、提供されるものであり、誰もが安心して新しい技術を使えるようにするためには、民間事業者等との連携が不可欠なのではないか。	○様々な意味で民間事業者等との連携は今後大切であると考えております。その意味で、基本目標（5）⑥を記載しております。
9	○P18、【視点3】2行目「人材の確保が難しくなっている状況では大きな力となる可能性を秘めています」とあるが、人材確保困難が（肯定的な評価である）可能性となる意味が不明であるので、論理的に詳述されたい。	○「人材の確保が難しくなっている状況ではデジタル化が大きな力となる可能性を秘めています。」に修正しました。
10	○P18、【視点3】3行目の「しかし、…大きな困難が伴うのです」の文は、この項目の文脈に合っていないだけでなく、デジタル化に対してネガティブなメッセージに取られる恐れがあります。該当部分は一旦削除することを提案します。その上で、デジタル化の費用などにかかる懸念点は、一部次の節にも記述があるので、それらを勘案して、優先順位をつけてデジタル化を進めるという点（次項の通り）を入れてはどうでしょうか。	○ネガティブな部分（デメリット部分）を全く記載しない訳にはいかないため、ご指摘の部分を一旦削除したうえで、費用やセキュリティ面について短く追記しました。
11	○P18、【視点3】P.12の8行目「サービスの内容に何を求め、何を止めるかを議論し、…」の下線部分は、「何を止めるか」→「何を優先するか」にすることを提案します。	○ご意見のとおり「何を止めるか」を「何を優先するか」に変更しました。
12	○P18、【視点3】メンテナンスを含めたコストや危機管理を考慮することは当然必要であり、デジタル化に際して業務の見直しを行うことも必要だと思うが、危機管理のために効率化が可能な業務をアナログのまま人が行うといったことは現実的でないと思う。	○ご意見のとおり、全く別な印象を与える恐れがあり、全体の文章を整理し、一部の記載を削除いたしました。
13	○P18、【視点3】公的なデータベースの整備が進んでいること（基本的なデータの作成やメンテナンスのコストの軽減）なども踏まえ、コストの縮減やセキュリティの向上を図ることを考えるべきではないか。	○ご意見のとおりです。しかしながら、なかなか難しいことも事実であるため、十分論議していくことは必要としております。
14	○P18、【視点3】この項目は行政サービスを念頭に置いたものと思われるが、具体的にどのようなケースを危惧しているのか。	○今後デジタル化が進展すると、行政のあらゆる業務はシステム整備が進むと考えられます。例えば、様々な申請や利用申込みなどは、庁舎に行かなくともオンラインで市民サービスを受けるような時代になると予測できます。健康診断も自宅から出来るような時代が来るかもしれません。しかしながら、システムの整備には多大な経費（ソフト・機器導入、メンテ、更新、改修費など）が掛かることも事実です。なんで

		<p>もデジタルにする前に、導入の効果や利用度、長所や短所を考えながら、システムの性能幅や導入の優先度などを検討していくことが大切であるということを記載しているところで。システム導入されたものの、逆にシステムが使いにくくて窓口に行くというようなことがないようにしないといけませんし、利用者がとても少ないのに維持経費が大きいなどということがないようにしなければならないと考えます。</p>
--	--	---

7. その他

No	意見・質疑等	市の考え方・回答
1	<p>○大学・専門学校学生へのアンケート調査結果は、今後、どのように活用される予定となっていますでしょうか。本審議会に関連して調査されたと思いますので、基本構想ほか、適切な場面において、何かしらの反映がなされることを期待しております。</p>	<p>○学生や若者の居場所づくり、賑わいづくりなどに関する政策面において活用させていただきます。</p>
2	<p>○全ての元号（昭和・平成・令和）に西暦を加えて表示してほしい。例、令和3年（2021年）、元号では一貫して年をとらえにくい。</p>	<p>○今後の作り込みの中で、見やすさも考慮しながら判断したいと考えております。</p>
3	<p>○【文言、字句訂正】基本理念、基本目標、重点戦略、デジタル基本方針について</p>	<p>○適宜、修正しました。</p>